

令和4年4月7日(木)

令和4年度入学式 式 辞

新入生の皆さん 入学おめでとうございます。教職員一同心より歓迎し、お祝いをいたします。

入学式の挙行にあたり、PTA会長 三國 隆 様、後援会長 市川 政廣 様にご臨席をいただいております。新入生並びに本校教職員を代表し、厚くお礼申し上げます。今、ここに、若さと希望に満ちた二百八十三名の新入生を迎え、令和四年度新潟県立新潟東高等学校入学式を挙行できますことは教職員一同にとりまして大きな慶びであります。

また、本日ご列席をいただいております保護者の皆様方におかれましては、高校生になった我が子の姿をご覧になり、これまでの成長の過程を思い起こすとともに、立派に成長した姿に感慨もひとしおのことと存じます。心よりお祝いを申し上げます。

ただ今入学を許可しました二百八十三名の皆さんは、本日から県立新潟東高等学校の生徒であります。本校は「総合的な探究の時間」を教育課程の柱とし、「自分を知り、地域を知り、自らの役割を考え、主体的に行動し、困難を乗り越え、粘り強く取り組む生徒」を育成したいと考えております。各学年、それぞれの生徒が地域に出ていき様々な活動を展開します。こうした活動を進める中で、積極的に地域の皆さんと関わり、想いを聴き、地域に貢献するとともに自分自身が大きく成長できるような東高校生になってほしいと思います。

また、皆さんは今年度から本格実施される新学習指導要領の第一期生にあたります。新課程では「一人一人の生徒が、自分の良さや可能性を認識できる」学校づくりが求められています。そのため、今年度から評価の方法を大幅に見直し、観点別学習状況評価を行います。一点刻みの点数だけではなく、多様な評価軸をもちいて評価していきたいと考えています。日々の学びを通して「何を理解し、何ができるようになったか」「理解したことやできることをどのように使うか」「どのように社会や世界と関わり、より良い人生を送るか」について考え続ける、学び続ける力を養っていききたいと思います。

さて、皆さんが本日登校してきた際、正面玄関に掲げられていた「継往開来～東(あゆ)の風に乗せて～」というスローガンが書かれた懸垂幕が目に入ったことと思います。東の風と書いて「あゆ」の風と読みます。これは令和元年度に、東高校が40周年を迎えた際、これから五十周年に向かうにあたり何を大切にしていけるか、を生徒自身が考え、決意表明したものなのです。継往開来には、過去のを継続し、それを発展させながら、将来を開拓していくという意味があり、

今後私達は、「新潟東高校を卒業した先輩方、並びにこれまで勤務された先生方の思いや願いを受け継ぎ、それをより良いものにしながら、新潟東高校を豊かにしていきたいという願いを、東（あゆ）という名の、東から吹く風に乗せて伝えていく」という意味が込められています。「あゆの風」とは春の訪れを感じさせる東から吹いてくる風のこと、古くは『万葉集』の中で大伴家持（おおとものやかもち）がその歌中で詠んでいます。氷を解かし、春を告げる風として喜ばれる一方、時には海上に時化（しけ）を起こす力強い風として警戒される一面もある風なのです。本校で学ぶ「総合的な探究の時間」は「東（あゆ）の風プラン」と名付けられています。すべての東高校生が、このプランを軸とした本校の教育活動によって、多くの人々から感謝され、時代に変化を起こすことができる力強さとしなやかさを持った人になってほしいと願っています。

保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。本日より、大切なお子様をお預かりすることになりました。お子様たちをよりよく指導していくためには、保護者の皆様と私ども教職員の協力が不可欠です。本校の教育活動について、御理解、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。私ども職員一同も、お子様たちの指導に全力を尽くし、時には、厳しく、毅然と、時には、温かく包み込んで、御期待に応えられるよう努めて参ります。御家庭におきましても、良き理解者として励ましていただきたくお願いいたします。

最後に、新入生の皆さんが、県立新潟東高等学校生として自信と誇りを持ち、今日の「初心を忘れることなく」、一人ひとりの夢を育み、その実現に向けて生き生きと光り輝くことができるよう、皆さんの努力と活躍に期待して、入学式の式辞といたします。

令和四年 四月七日
新潟県立 新潟東高等学校長
笠井兵彦